

「オフィスチェア BK」
(YF-936DH)

Fuji Boeki Co., Ltd. 

組立説明書



商品仕様

材質 : 構造部材：金属（鋼）/ ナイロン樹脂
張り材：ポリエステル
クッション材：ウレタンフォーム

MADE IN CHINA

不二貿易株式会社
福岡県北九州市若松区大字安瀬64-36



<https://www.fujiboeki.jp/>

このたびは、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にご使用いただくためにも、本組立説明書を必ずお読みになり、内容を十分ご理解の上、ご使用ください。
また本組立説明書は大切に保管してください。

本商品は、組み立てタイプのチェアです。それ以外の用途では使用しないでください。

使用者、及び他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下の「取扱上の注意」を必ずお守りください。

取扱上の注意 [⚠ 警告]

人が死亡または重症を負う可能性がある内容

⊖ してはいけない禁止事項

- 商品の上に乗ったり、飛び跳ねたり、肘部や背部の上に腰かけたりしないでください。
転倒し、怪我や商品の破損の原因になります。
- 床面の平らでないところ、傾斜角度の大きいところでの使用や、背もたれに過度に荷重をかけたり商品を傾けるなどの不安定な状態での使用はしないでください。商品の破損や転倒し怪我をする原因になります。
- 背もたれや肘などの座面以外の部分に座ったり、支えにして立つなど過度な荷重をかけないでください。
商品の破損や転倒し怪我をする原因になります。
- 勢いよく腰かけたりしないでください。商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
- 商品に不用意に寄りかかったり、手をついたりしないでください。転倒し怪我の原因になります。
- 二人以上で腰かけたりしないでください。商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
- 回転部分に手、足、指を差し込む行為は非常に危険ですので絶対しないでください。怪我の原因になります。
- 背もたれの可動部に手、足、指を入れる行為は非常に危険ですので絶対しないでください。怪我の原因になります。
- 商品の過度な回転はしないでください。商品の破損、怪我の原因になります。
- 商品にキャスターが付いている場合、座ったまま急激に動いたり、押して遊んだりしないでください。
転倒して怪我をしたり、商品自体、また他のものの破損につながる恐れがあります。
- 商品にキャスターが付いている場合、毛足の長い敷物の上では使用しないでください。
商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
- 保護者の目の届かないところで、お子様だけで使用させないでください。思わぬ怪我をする恐れがあります。
- お子様が手や足を隙間に入れないように十分に注意してください。怪我の原因になります。
- 乳幼児を寝かせないでください。窒息や落下など重大な事故につながる恐れがあります。
- たばこの火などを商品の上に落とさないでください。火災の原因になります。
- 本来の用途以外に使用しないでください。思わぬ怪我をする恐れがあります。
- 破損、変形した商品は使用しないでください。思わぬ怪我をする可能性があります。
- 修理や改造はしないでください。商品の強度が弱くなり、商品の破損、怪我につながる恐れがあります。
- 梱包材のビニール袋を頭から被らないでください。窒息の原因になります。
- この商品は家庭用として企画されたものです。家庭用以外の用途ではご使用いただけません。

取扱上の注意 [⚠ 注意]

人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある内容

設置について

- 傷や凹みのつきやすいウッドフロアやクッションフロア、畳などでご使用になる場合は、必ずカーペットなどの敷物の上に商品を設置するか、フェルトなどの保護材をつけてご使用ください。
- ビニール製の床などは、商品の設置面の材質や塗料とまれに化学反応を起こし変色、着色する場合がありますので、保護シートなどをご使用ください。
- 直射日光や冷暖房の風が直接当たらないところに設置してください。変色、変形や部材のひび割れなどの原因になります。
- 屋外には設置しないでください。
商品の変形、変色、急激な劣化が起こり、商品の破損、怪我の原因になります。
- 高温多湿の場所は避けて設置してください。
カビやダニの発生の原因になり、健康に害を及ぼす恐れがあります。
- ストーブやコンロなど火の気のある場所は避けて設置してください。火災の原因になります。
- 電化商品の電源コードは避けて設置してください。コードが破損し、感電、火災の原因になります。
- 床面の平らなところに、水平になるように設置してください。破損、ガタツキ、転倒、変形、異常音の原因になります。
- 商品は壁から5 cm以上離れた場所に設置してください。壁の素材と商品の素材が化学反応を起こし、色移りや色落ち、湿度の高い時などは木部の膨張やカビの発生の原因になります。

使用時

- 商品を回転させたり、背もたれを倒したりなど可動させる場合は、周囲に人や物がないことを確認してから動かしてください。思わぬ怪我や破損の原因になります。
- 商品に座る際は、しっかりと深く腰かけてください。浅く腰かけると転倒し怪我をする恐れがあります。
特にキャスター付きの場合は注意してください。
- 端に偏って荷重をかけないでください。背もたれ、座面の破損、変形の原因になります。
- 商品の周辺や上部に物を置かないでください。落下し破損や怪我の原因につながります。
- 商品の上に、熱いものを直接置いたり、ビニールやガラスを長時間置いたままにしないでください。
変色、塗装の剥がれなどの原因になります。
- 素肌や衣類が濡れたままでの使用は避けてください。張地のシミ、変色、汚れや劣化の原因になります。
- 整髪料が商品に直接触れないようにしてください。商品の変質、変色の原因になります。
- 合成皮革とその他の本革や生地などの異素材を接触させないでください。
その異素材に使用されている染料が移ることがあります。
- 常に同じ位置に腰かけるなど偏ってご使用になると、中材のウレタンフォームが偏って変形したり張地の劣化を早める原因になります。

取扱上の注意 [ご使用に際して]

ご使用に際して

- ご使用になる前に商品にガタツキやぐらつき、傷、割れ、ヒビ、また可動部の不具合など安全性に問題が無いか確認をしてください。不具合がある場合は使用しないでください。怪我の原因になります。
- 最初にご使用になるときは室内の換気を十分に行ってください。
接着剤などに使用されているホルムアルデヒドが商品や梱包材にこもっている可能性があり、ホルムアルデヒドに過敏な方や乳幼児などはアレルギー症状を起こす可能性があります。
- 使い始めの時は、素材の臭いが気になる場合がありますが、その時は風通しの良いところで陰干しを行うか、定期的に換気を行ってください。次第に臭いは緩和されていきます。
- 商品の表面や収納部に工場から出荷時のほこりや汚れがわずかに残っている場合がありますが、不良ではありません。ほこりを払ったり、やわらかい乾燥した布でふき取ってください。

保守・点検・お願い

- 商品の保守、点検は1ヶ月をめどに定期的に行ってください。使用の有無にかかわらず保守、点検は必要になります。それを行わないと劣化の進行を早めたり、故障、破損の原因になり危険です。
- 汚れを落とす際は、中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞ってから、汚れた部分をたたくようにして拭いた後に乾いた布で水分をふき取ってください。
- 汚れを落とす際に水分の多い雑巾、クレンザー、シンナー、灯油、アルコール、ベンジンなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れなどの商品劣化の原因になります。
- 化学雑巾をお手入れにご使用になる場合は、その説明書をよくお読みになり注意点をお守りください。
- 臭い、湿気、害虫などが付着した場合は、十分に陰干し、殺虫、防虫処理を行ってご使用ください。
- 商品にひび、割れ、折れなどの破損や、動作不良、異音などがある場合は使用を直ちに中止してください。怪我をする可能性があり非常に危険です。

廃棄方法

- 廃棄方法はお住いの自治体の指示に従ってください。

組み立ての前に (共通)

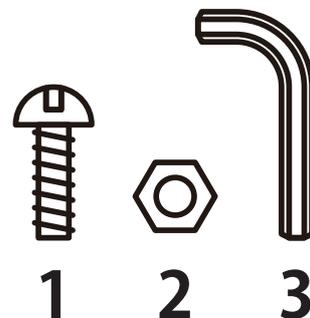
組立家具は、下記のポイントをおさえることでスムーズに組み立てることが出来ます。
組み立ての前に必ず下記の説明文をお読みください。

部品・パーツの確認 (種類・数量)

組み立ての前に、必ず記載された部品・パーツが揃っているか、確認してください。

紛失しやすい小さいネジやボルトなどは、小箱やトレイ・小皿などに分けて入れて管理を行うと便利です。

※部品・パーツが足りなかった場合は、お手数をお掛け致しますが、購入店を通じて、弊社にお問い合わせください。



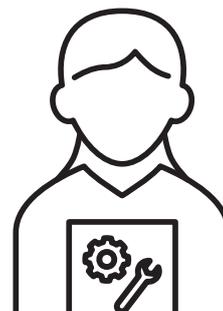
組立手順の把握

最初に組立説明書をよく読み、全体の流れを把握してください。

手順前後による組み立ての不備の防止だけでなく、スムーズな組立作業に繋がります。

特に以下の点を間違ったまま組み立ててしまうと、組みあがらなかったり、商品を破損してしまう場合がありますので、ご注意ください。

■ネジの種類



必要な道具の確認

商品によって、必要な工具・道具 (ドライバー、ハンマー、はさみやカッター、軍手など) をご準備ください。

ドライバーは、付属のネジに合ったサイズのものをご準備ください。サイズの合わないドライバーの使用は、ネジの破損やパーツの破損につながります。

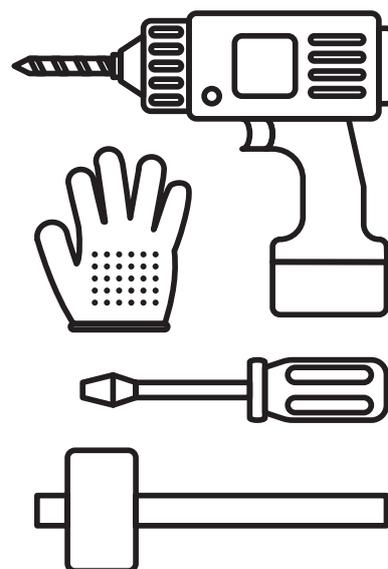
また以下の工具も必要に応じてご準備頂くと、スムーズな組み立てに繋がります。

■ゴムハンマー

: パーツ同士をしっかりと組む際、パーツを傷つけることなく組むことが出来ます。

■電動ドライバー

: ネジの箇所が多い商品の、組立時間の短縮が図れます。



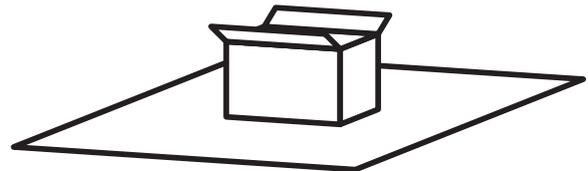
組み立ての前に (共通)

組立家具は、下記のポイントをおさえることでスムーズに組み立てることが出来ます。
組み立ての前に必ず下記の説明文をお読みください。

作業スペースの確保

平らで広めの作業スペースの確保は、スムーズな組み立てだけでなく、小さなパーツの紛失や、思わぬ事故の防止につながります。

また引き出しや扉がある商品は、開いた時の壁との距離やスペースを確保して作業を行ってください。



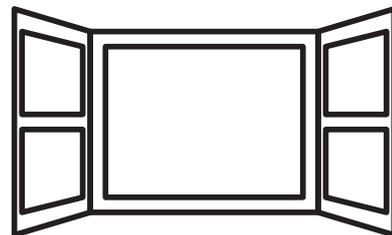
マット・毛布・ダンボールなど

床の保護

組立時、商品を回転させたり移動させたりするときに、床面や商品を傷つけてしまうことがあります。床にマットや毛布、ダンボールなどを敷いて作業を行うことで、キズや破損から守ることが出来ます。

換気

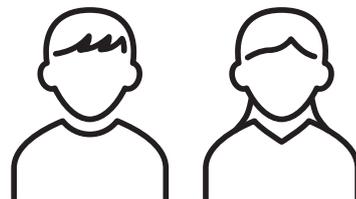
商品によっては、材質の特性上接着剤などのおいぐする場合がございます。組立時は風通しの良い場所で、換気を行いながら組み立てを行ってください。



2人以上で

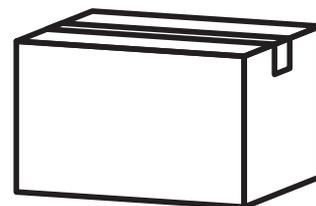
組み立てが複雑な商品は2人以上で組み立てることで精度の高いスムーズな組み立てを行うことが出来ます。

また商品によっては、サイズの大きい商品や重たい商品もあり、商品の破損や事故を未然に防ぐことに繋がります。



組立完了まで梱包資材は廃棄しない

商品の組み立てが完了するまで、梱包資材は廃棄しないでください。返品時、運送会社によっては商品の引き取りを断られる場合があります。



組み立てのポイント (ネジの締め方・取り付け)

ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。
大きさに合わないドライバーの使用は、力の無駄が多く、部品の破損につながります。

ゆるめに締めながら組み立て(仮締め)

最初は全てのネジを8割くらい締め(仮締めを行い)、最後に全てのネジをしっかり締めてください(本締め)。

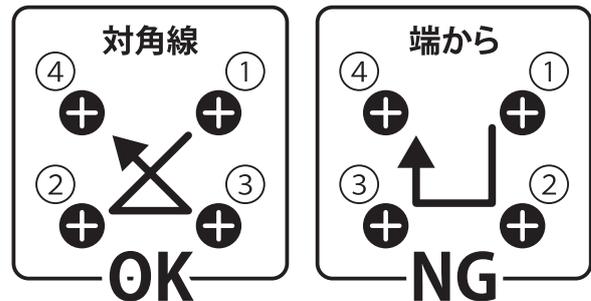
最初からネジをしっかり締めていくと(本締めを行っていくと)、他のネジ穴の位置がずれ組み立たなかったり、商品にひずみやねじれが生じ、がたつきの原因となる場合があります。



対角線にネジを締めていく

ネジを対角に締めることで、締めつける力が均等になり、ネジの緩みが少なくなります。

また端から順番に締めていくと、その部分だけに力が集中してしまうことで商品が反り、ネジ穴がずれ、反対側のネジが取り付けられないことがあります。

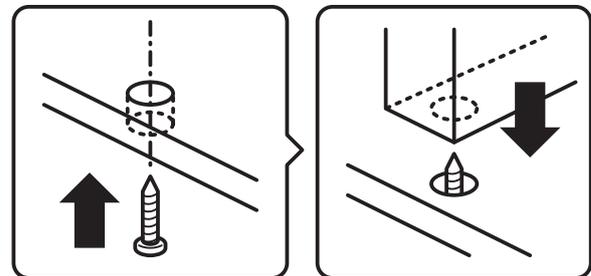


ネジ締めが硬い場合

ネジを取り付ける際、ネジ締めが硬い場合がございます。その際は無理に押し込まず、家庭用のロウや固形石鹸などをネジに塗って締めると入りやすくなります。

ネジ穴が見えにくい場合

ネジ穴が見えにくい場所をネジで固定する場合は、先にネジをネジ穴に通しておき、ネジの先端部を出して部材のネジ穴と合わせることで、組み立てを簡単にすることが出来ます。



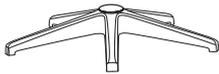
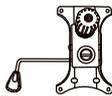
組立部品・パーツ

部品・パーツの確認

■組み立ての前に、必ず部品・パーツの番号・形状を下の一覧で確認してください。

■ネジなどの細かい部品はなくさないようにまとめ、組み立ての際に使用する分だけ取り出すようにしてください。

※部品・パーツが足りなかった場合は、お手数をお掛け致しますが、購入店を通じて、弊社にお問い合わせください。

<p>④キャスター ×5</p> 	<p>⑤レッグベース ×1</p> 	<p>⑥ガスシリンダー ×1</p> 	<p>⑦ワッシャー付 ボルト (小) ×4</p> 
<p>⑧ワッシャー付 ボルト (大) ×4</p> 	<p>⑨ボルト (アーム用) ×4</p> 	<p>⑩ボルト (ヘッドレスト用) ×2</p> 	<p>⑪アーム (左右) ×1</p> 
<p>⑫ビスカバーキャップ (ヘッドレスト用) ×2</p> 	<p>⑬ビスカバーキャップ (アーム用) ×4</p> 	<p>⑭ブラケット ×1</p> 	<p>⑮六角レンチ ×1</p> 
<p>⑯座面 ×1</p> 	<p>⑰背面 ×1</p> 	<p>⑱ヘッドレスト ×1</p> 	
			<p>必要な道具・工具</p>  <p>手袋</p>

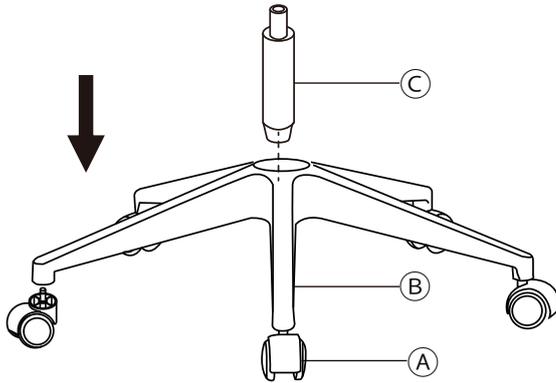
組立説明図

組み立ての際は、商品の転倒に注意し、安全のために必ず2人以上で行ってください。
また手袋をして、無理のない姿勢で行ってください。

1

脚部の組み立て

①キャスターと②ガスシリンダーを
③レッグベースへ取り付けます。



ガスシリンダーは潤滑油が塗ってあります。組み立ての際は、手や衣服などを汚さないように、気を付けてください。

一度取り付けしたガスシリンダーは取り外すことができません。

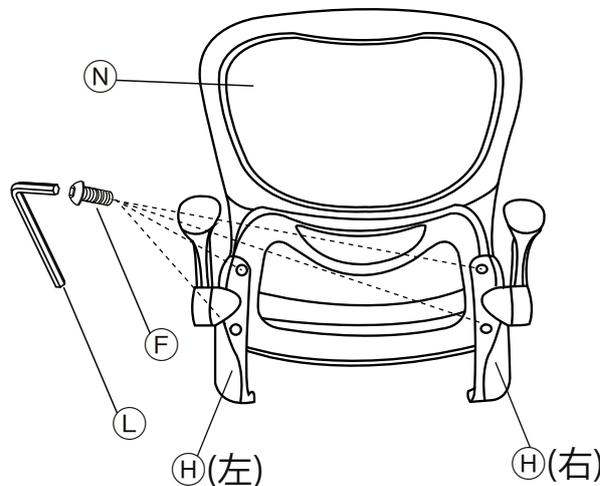
キャスターはまっすぐ差し込む



2

背面・アームの取り付け

④背面へ⑤アーム(左右)を
⑥ボルト(アーム用)で取り付けます。



最初(仮締め)



8割程度まで

最後(本締め)



根元までしっかり

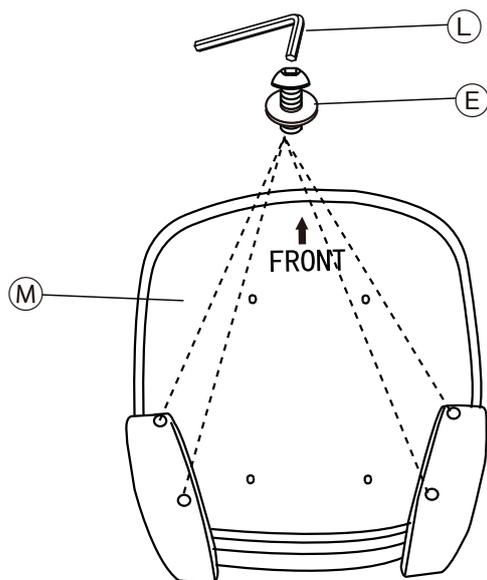
組立説明図

組み立ての際は、商品の転倒に注意し、安全のために必ず2人以上で行ってください。
また手袋をして、無理のない姿勢で行ってください。

3

背面と座面の取り付け

2で組み立てた本体へ⑭座面を
⑮ワッシャー付ボルト(大)で取り付けます。



最初(仮締め)



8割程度まで

最後(本締め)

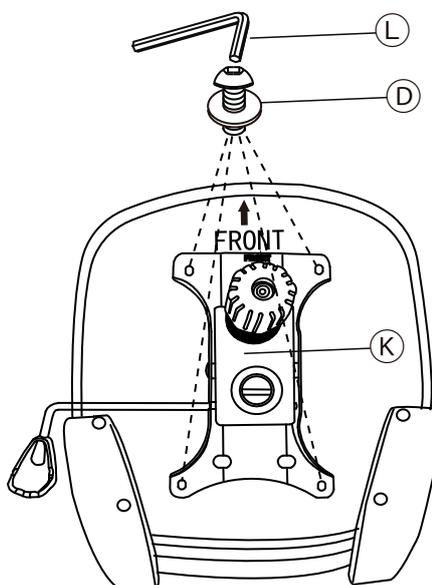


根元までしっかり

4

ブラケットの取り付け

3で組み立てた本体へ⑯ブラケットを
⑰ワッシャー付ボルト(小)で固定します。



最初(仮締め)



8割程度まで

最後(本締め)



根元までしっかり

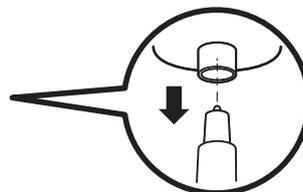
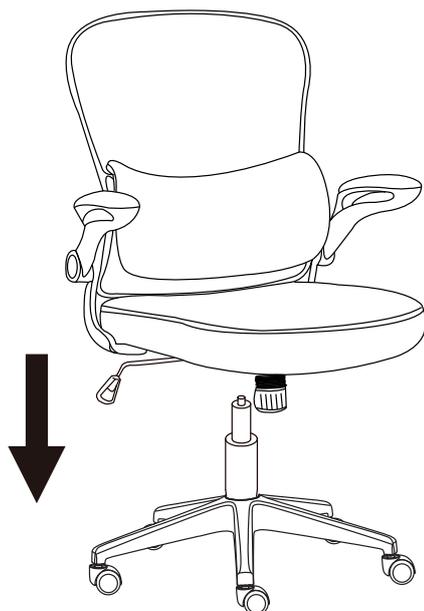
組立説明図

組み立ての際は、商品の転倒に注意し、安全のために必ず2人以上で行ってください。
また手袋をして、無理のない姿勢で行ってください。

5

脚部への座面の取り付け

1で組み立てた脚部へ4で組み立てた本体を取り付けます。



一度取り付けしたガスシリンダーは取り外すことができません。

6

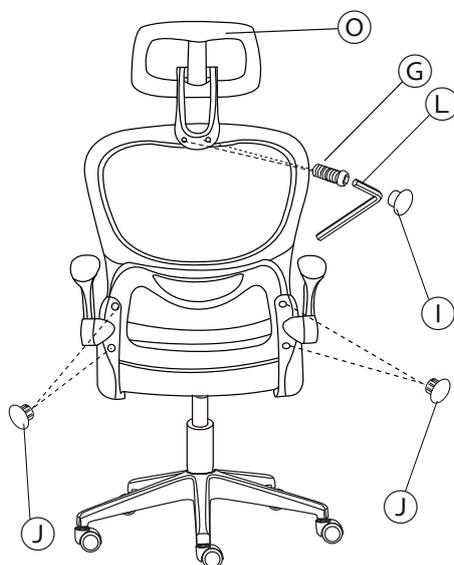
ヘッドレストの取り付け、完成

5で組み立てた本体へ①ヘッドレストを②ボルト(ヘッドレスト用)で取り付けます。最後に、③ビスカバーキャップ(ヘッドレスト用)、④ビスカバーキャップ(アーム用)を付けたら完成です。

本締め



根元までしっかり



完成イメージ

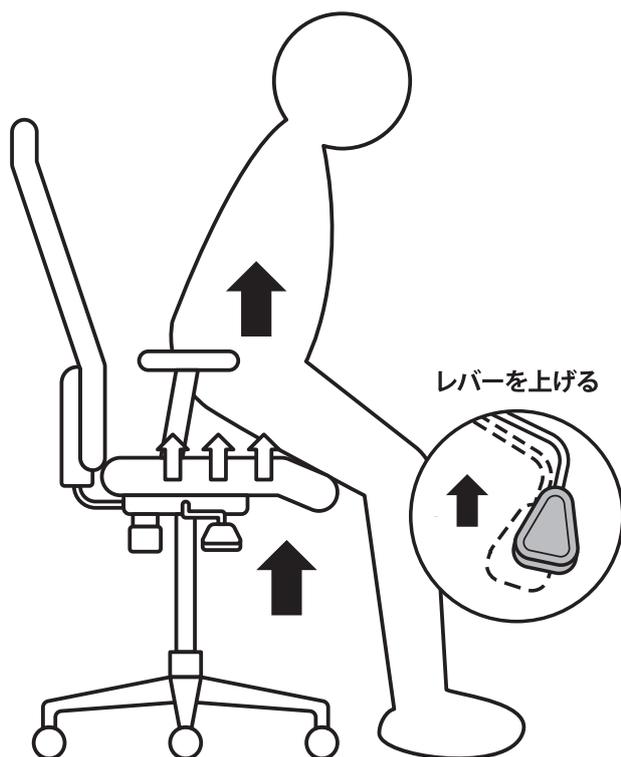


使用方法（座面高さ調整（ガス圧昇降））

圧縮ガスのピストンシリンダーを使用し、座面の高さを調節することが出来る機能です。

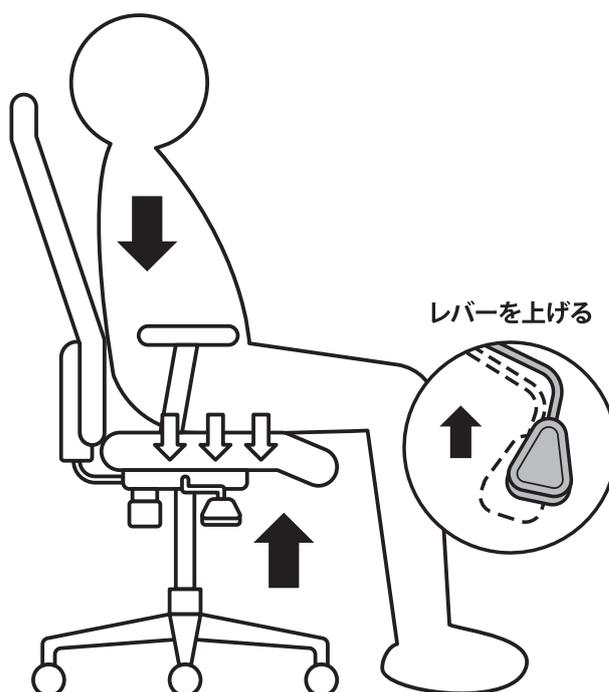
座面を上げたいとき

荷重（体重）をあまりかけない状態でレバーを上げると、座面を上げることが出来ます。
（脚部の中のシリンダーが伸長）



座面を下げたいとき

荷重（体重）をかけた状態でレバーを上げると、座面を下げる事が出来ます。
（脚部の中のシリンダーが収縮）



■体重の軽い方は、荷重がかからず座面が下がりにくいことがあります。
その場合は座面の奥深くの位置に座り、全体重を掛けるようにして何度か座り直してください。
またお子様ご利用になる際は、大人の方が手を貸していただけますよう、よろしくお願い致します。

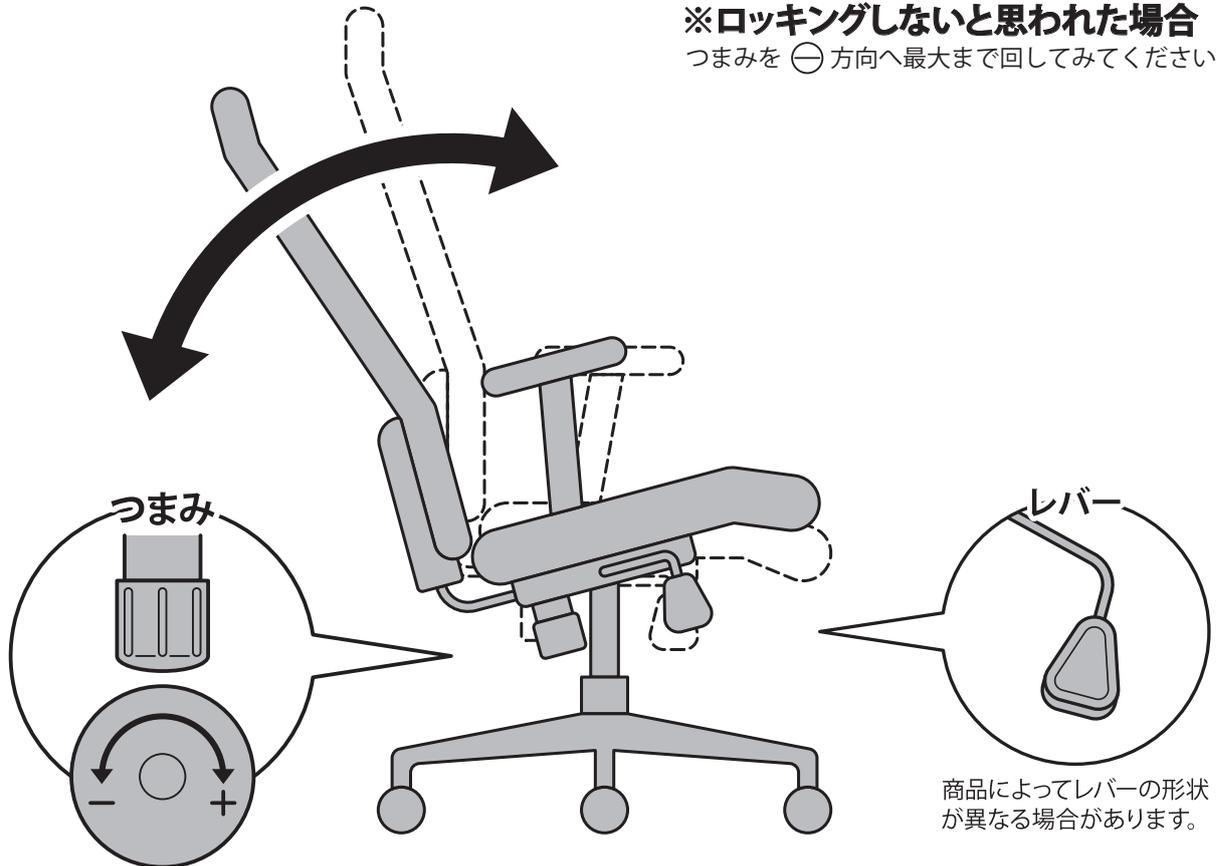
■レバーの形状は商品によって異なる場合があります。

使用方法 (背・座ロック [揺れ動く])

「背・座ロック」とは、背もたれと座面が一緒の状態、背もたれと座面の角度が固定された状態で、後ろに倒すことができる機能です。

※ロックしないと思われた場合

つまみを ⊖ 方向へ最大まで回してみてください。

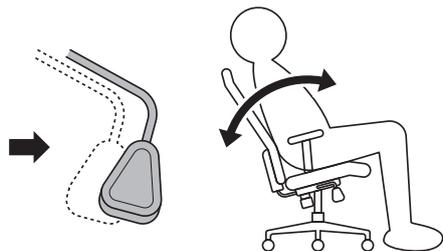


- ⊖ ロッキングが軽くなります。
- ⊕ ロッキングが重くなります。

背もたれの固定を解除する

背もたれに体重をかけるとロック (揺れ動く) します。

レバーを引いた状態のまま使用する。



背もたれを固定する

